

平成 30 年 2 月 22 日

2018 年度野球規則改正・規則適用上の解釈と要点解説

日本高等学校野球連盟
審判規則委員会

注：（ ）内数字は今回改正された 21 項目の符号

- (1) 軟式公認球の意匠変更（今年度の大会から高校野球では新公認球「M号」を使用する）
- (2) 原文通り。
- (3) 【5.03 原注】を削除し、【5.03 原注】の後段を新たに設けた(C)に、前段をペナルティに再編集したもの。
- (4) (5) 原文通り（バッターボックスルールについてはアマチュア内規で規定している）
- (6) 「申告故意四球」の追加
高校野球では採用を見送り、高校野球特別規則 27.「申告故意四球の取り扱い」を制定した。
- (7) Official Baseball Rules と同じ記述に変更した。
- (8) 前記 (7) の変更に伴い、文中に後段の言葉を追加した。
- (9) 投手が投手版に触れないで投げた打者への投球として、塁に走者がいるときはバーク走者がいないときは反則投球となる。
- (10) アマチュア野球では、投手の軸足および自由な足に関して規定している。
- (11) Official Baseball Rules に記載されていない最初の一文を削除した。
- (12) Official Baseball Rules のとおりにセンテンスを追加した。
- (13) アピールのため、送球がボールデッドの個所に入った場合、アピール権の消滅となり、その後、いずれの塁、いずれの走者に対してもアピールは許されない。
- (14) Official Baseball Rules のとおりに訳した。（センテンスの一部を追加）
既に試合から退いたプレーヤーが、何らかの形で、試合に再出場しようとしたり、または再出場した場合の対応規定。
- (15) Official Baseball Rules のとおりにセンテンスを追加した。
(14)と連動しているため、その処置に合わせる。
- (16) 6.01(b)【注2】を Official Baseball Rules に合わせ、6.01(d)【原注】の末尾に移して「例」とした。
- (17) Official Baseball Rules に記載されていない最後の一文を削除した。
- (18) Official Baseball Rules のとおりに最初のセンテンスを加筆した。
- (19) 「申告故意四球」の追加（上記(6)のとおり）
- (20) 「申告故意四球」の追加（上記(6)のとおり）
- (21) 国際基準に合わせて定義 38 の【注】を削除した。これにより、5.07(a) (1)および(2)に規定された投球動作に違反しても、走者がいない場合ペナルティを課すことはなく、これまでのように“ボール”を宣告することはない。
ただし、高校野球では、『従来通り』とし、高校野球特別規則 28.「反則投球の取り扱い」を制定した。